

恩田聖敬さん F C岐阜社長退任

それは、突然の退任表明 力強い言葉をかけてくれた。11月23日、岐阜市

の長良川競技場で開かれた サッカーJ2・F C岐阜の 今季最終戦。敗戦後のセレ モニーで社長の恩田聖敬さん(37)はサポーターを前に あいさつ。言葉を発すること ができるため、介助者 がメッセージを代読した。 「今の自分がこれ以上社長 を続けることはF C岐阜の ためにならない」

恩田さんは全身の筋肉が 徐々に動かなくなる難病 「筋萎縮性側索硬化症(A LS)」の発症を今年1月に 公表し、闘病を続けている。 私が初めて会ったのは岐阜 市に赴任した5月、F C岐阜 が地域貢献の一環として開 いた老人介護施設での交 流イベントを取材した時だ った。恩田さんはお年寄り から「テレビで見たことが あるよ」と声をかけられ、 笑顔だった。私のところにも 車椅子で近づいてきて 「今日はありがとうござい ます」とゆっくりとだが、

恩田さんは2014年4 月に社長に就任し、スポン サー回りやイベント参加、 強豪チームの視察などを精 力的にこなした。「F C岐 阜を県民にとっての『子ど も』にしたい」とビジョン を語り、地域に根ざすチー ムづくりを進めてきた。就 任1年目はフモス瑠偉監督 の就任、元日本代表G K川 口能活選手らの加入で注目 を集め、ホームゲームの入 場者数は1・7倍に増え た。試合会場の長良川競技 場の入り口前ではサポータ ーを迎える恩田さんの姿が 常にあった。

国内に約9000人の患 者がいるとされるALS は、脳の命令を筋肉に伝え る神経に障害が生じる難 病。原因は不明で、有効な 治療薬もない。だが、私が 見てきた恩田さんはいつも 明るく、前向きだった。7 月、母校の山県市立高富中 学で特別講演した時のこ

ALSと闘いチーム応援

と。病気は進行し、既に自 期入社。ネットのニュース 力で声を出すことも難しか ったが、恩田さんは音声ソ フトを使って「身体は動か なくても心に影響はない。 私が私でいることに変わり はない」「必ずこの病気が 治る時が来ると信じ、しづ くと生きたい」と話し、後 輩たちを笑顔にさせてい た。6月のホームゲームで は、長良川競技場で日本A LS県支部協会のメンバ ーとともに募金活動する姿 があつた。病と闘いながら果 敢に行動する姿に多くの患 者が励まされている。

F C岐阜は今季、22チー ム中20位と低迷し、来季は サポートするのが山崎明日 香さん(34)だ。恩田さん の前の職場、ゲーム施設運 営会社「ネクストジャパン」 (Jトラストと合併)の同

【石塚誠】
つづく

